



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

No.30

R7.9.9

One for all, all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～ 〔児童数〕 292 名

学校教育目標: 認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

読書の秋へ ～育てたい、豊かな感性・表現力・想像力～

まだまだ暑い日が続いていますが季節は秋、秋は芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋などと言われ、様々なことに取り組みやすい季節です。この中でも「読書の秋」は、中国・唐の文人である韓愈(かんゆ)という詩人が詠んだ「燈火(とうか)親しむべし」という一節がもとになったと言われています。その意味は「秋になると涼しさが気持ちよく感じられる。そんな秋の夜長はあかりをつけて本を読むのに適した季節である」ということで、韓愈が息子に対して勉強を勧めた言葉として知られています。

今学校では、ICT を積極的に活用する一方で、子供たちの活字離れや国語力の低下、対話による問題解決能力の低下などが指摘されています。読書活動はこれらの能力を高めるだけでなく、豊かな心と確かな学力を育むための大切な取組として重要性を増しています。栄小では、学校の自慢でもある図書ホールや定期的に来ていただいている自動車図書館アルス号を活用して、読書を広く推奨しています。子供たちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていくために、読書のよさを伝えていきたいと思います。



難敵現る！算数の壁 ～みんなで次のステージへ～

3年生では大きな数のかけ算、6年生では分数のかけ算の学習に取り組んでいます。授業中の子供たちは真剣そのもの、これまで学習してきたことをもとに答えを導き出しています。これまでよりレベルアップした問題に頭を抱える児童もいますが、解き方を話し合い、伝え合いながら、みんなで難問と戦っています。頑張れ、みんなで次のステージへ！



よりよい学校生活に向けて奮闘中！ ～委員会活動～

8日(月)、夏休み明け初めての委員会の時間でした。どの委員会もこれから実施する活動の準備のほか、4月からの取り組んできた常時活動の成果や課題について話し合いました。1 学期も残り1か月、よりよい学校生活に向けて、高学年の子供たちが奮闘しています。

